

学習のアドバイス 3年文系の学習法

今後の学習について先生方にアドバイスをいただきました。

現 代 文

・4月7日臨時登校日に配布した「国語科より 受験生の皆さんに向けて」というプリントを参照し、**基礎知識定着のための学習**に取り組む。

・**小論文対策**…志望する分野に関する知識が十分でないと、入試直前になっても小論文の内容が深まらず苦勞する！今のうちに対策をしておこう。

①新聞(社説欄)を毎日読む。

(色々な分野の文章を読んで、自分の中の引き出しを増やすため。
綺麗な文章を読んで自分の文章力を向上させるため。)

②小論文の頻出テーマについての記事をネットで検索して読む。

(「第一小論Net」の小論文入試情報ライブラリーもおすすめ。)

③新書を読む。

(進路室や図書室にあるものを貸し出します。借りたい人は声をかけてください)

④スクラップブックづくり

(自分の志望分野に関する記事の切り抜きを貼る、ニュースの内容を書き留める)

⑤過去問を見る。

(志望校が定まっている人は一度確認しておこう。)

古 典

・4月7日臨時登校日に配布した「国語科より 受験生の皆さんに向けて」というプリントを参照し、**基礎知識定着のための学習**に取り組む。

・**QUIZLET**を活用。

みんなの古単語帳「古文単語325」と対応しているので、小テストのつもりでやってみよう。スマホで使用可。

(使用方法は別紙。)

・**古典の漫画**をよむ。

(源氏物語は入試頻出！「あさきゆめみし」がおすすめ。)

日 本 史

- ① 1学期中(休校中を含む)の目標として、原始・古代から近世まで(江戸時代の幕末まで)一通り復習して、歴史の大きな流れをつかむ。その際、「教科書」を読み「一問一答」・「日本史総合テスト」を活用して、知識の定着をはかるようにする。また、「図説」の写真・地図・まとめ年表などは、学習をすすめるうえで、とても参考になるので活用してほしい。「ウイニングコンパス」を持っている人は、これを活用するのもよい。
- ② 共通テストは新傾向の問題も増える。今後模試などで練習していくことになるが、2年次の模試のやり直しがまだならば必ずやっておく。
- ③ 日本史はあきらめなかった者勝ちです。まだまだこれから君たちは伸びます。自分を信じて頑張ってください。

世 界 史

- * 自分でまとめる努力をすること。苦しまなければ頭には入らないことも事実。
- * 苦手な人には、特に、自分で各国(各地域)横並びの年表を作成することを勧める(図説にある巻末の年表を自分なりにまとめてみる、のもひとつの手)。
- * 加えて各時代ごとの地図を見比べながら眺めて、歴史的な地理感覚を養うことも有効だと思います。
- * この休校中に2年生の既習範囲の一問一答を繰り返しやり、知識を定着させよう。
3年生は週あたりのコマ数も増え進度もはよくなってくる。2年次の既習範囲をマスターしておくことが、3年生での勉強をスムーズに行うことにつながる。
- * 共通テストは新傾向の問題も増える。今後模試などで練習していくことになるが、2年次の模試のやり直しがまだならば必ずやっておく。
- * 世界史はあきらめなかった者勝ちです。まだまだこれから君たちは伸びます。自分を信じて頑張ってください。

公 民

勉強法は人それぞれ。自分にあったやり方を早く見つけよう！

○授業プリントを一通り学習する。できなかった箇所にマークし、重点的に復習する。

○ある程度知識がついてきたら、教科書やプリントを速読する。→流れの理解につながる。

一巡目は大変だが、回を重ねるごとに時間が短縮され理解が深まる。

(三巡目以降は本当に理解と定着が強固なものになります！)

→ 参考書などの高度な知識も基本がしっかりとできていると、身につけやすくなる。

① まず、全体の流れをつかもう！

・教科書や授業プリント、ノートを学習して基本を押さえる。

・3巡目でもよくわからないところは、印をつけておく。

② 流れをつかんだら、細かい事項を詳しく学習しよう！

・問題集に取り組む。問題集などで出てきた見たことがない事項については、その都度教科書やノートに書き込んで強化していく。→ どんどん情報量を増やしていく。

・教科書は説明が簡略化されている部分があるので、理解を確かなものにするためにも、それを補う必要がある。参考書や資料集・用語集は知識や理解を深めるのに強い味方。活用して見識を広めよう！

・単に暗記するだけでなく、理解することが大切。

・一つのキーワードからどんどん連想できるようにトレーニングする。

・日本国憲法は政治分野の基本。必ず学習すること！(教科書P228～234)

③ 模試・定期考査・実力考査の活用方法

・定期考査で勉強したことを忘れないようにすることが大切。→ 受験勉強時間の短縮に

・模試は必ず、復習しよう！できなかった問題を教科書やノートにまとめておくと効果的！

④ 入試本番で高得点をとるために！

・共通テストでは、単に用語を理解しているだけでは解答できない！思考力が問われる。教科書の太字は重要語句だが、それを説明している太字でない箇所も重要である。このことを知らないと共通テストで高得点は難しい。

・センター試験過去問を10年分は解こう。

・私大入試で政経を受ける者は、志望大学の過去問を必ず5年分以上解くこと。

・時事問題も出題されるので、常に政治・経済の動向を新聞やニュースでチェックしておく。

・センター試験では、図表を読み解く問題が毎年出題されたので、必ず過去問で対策を！

⑤ 誰でも不安になる！不安になったら・・・

・一度覚えたことでも人は必ず忘れる。忘れることを恐れなくても大丈夫！そのために三巡以上、できれば入試までに五巡する！特に苦手なところは印を付けて何度でも繰り返す。そうすれば絶対に忘れない！

⑥ 注意事項

・焦っていい加減な学習をすると、身につかず時間の無駄になる。

・日本史・世界史と関連している内容が多いので、政経をしっかりと学習することで相乗効果となる。→ 国語や英語など他教科の理解にもつながる。

⑦ 具体的な学習方法例

＜朝鮮戦争＞

(1) 朝鮮戦争

1. 【1: 朝鮮戦争】(1950年6月～53年7月)

【2: 大韓民国】+国際連合軍(アメリカ主力)

VS

【3: 朝鮮民主主義人民共和国】+ソ連+中華人民共和国義勇軍

1951年7月【4: 板門店】で休戦会談はじまる

1953年7月休戦協定の調印

2. 日本の前線基地化: 連合軍の軍事基地

○【5: 朝鮮特需】

・武器・車輛の修理、弾薬の製造などの軍事的発注が急増 → 日本経済の復興

・1951年には戦前の鋳工業生産水準を超える

○【6: 警察予備隊】の創設(1950年8月)マッカーサーが吉田茂に書簡を送付

・在日米軍の朝鮮出動の空白をうめる目的で設置

・平和憲法をもつ日本の「再軍備」はGHQによる最後の占領改革となった

これを見て、どのように勉強しますか？「とりあえず、【】が六つあるから、そこだけ覚えよう」とか、「重要箇所に色をつけてみよう」などと思うかもしれませんが、どちらも大切なことです。しかし、一番重要なのは、「全体像(一連の流れ)を把握すること」なのです。

これだけの文面の中にも非常に多くの情報が盛り込まれています。順番に拾っていくと、①「朝鮮戦争」②「韓国と北朝鮮の戦い」③「資本主義と社会主義の戦い」④「アメリカとソ連の戦い」⑤「李承晩と金日成」⑥「板門店で休戦会談」⑦「北緯38度線の設定」⑧「朝鮮戦争により日本で特需が起こった」⑨「アメリカは朝鮮に出兵し、日本を守れなくなるので警察予備隊創設を命じた」⑩「警察予備隊は保安隊になり、自衛隊に発展していく」⑪「自衛隊の創設にはMSA協定が絡んでいる」⑫「自衛隊と憲法9条の関係の問題」⑬「朝鮮戦争は現在も休戦状態で停戦したわけではない」などなど、実に様々な内容が含まれていることがわかります。大切なのは、これらの情報を断片的に(一問一答的に)覚えるだけではなく、それぞれの情報を結びつけていくこと、つまり「連想」できるようにすることです。もっと言うと、今まで出てきた内容や、後に出てくる内容とも結びつけていくことが大切なのです。

今までになく大変な時ですが、健康第一に努め、後で後悔しないように今できることをしっかりとやっていきましょう！

英 語

4月7日火曜日に配布した英語科からの連絡を参考に学習してください。

この期間に目標とするゴールを知ること！赤本を見て、最終的にどんな問題ができるようにならなければいけないのか知っておく。それなしで何を勉強したらいいのかは分からない。「**大学受験パスナビ**」に**無料登録**すると国公立大学の多くの過去問が手に入ります。まず、ゴールを知る→何を勉強したらいいか計画する→力がつくと信じて勉強する→テスト(過去問や入試対策問題集)・復習→勉強の優先順位をつけなおす→勉強→テスト→勉強の優先順位のつけなおし・・・この繰り返しをしていけば必ず力はつきます。

以下のサイトからweb学習できますので活用してください。

<https://quizlet.com/join/x6FYwubnr>

★大学進学を目指すキミへ

「マークより記述！」

勉強優先順位

1. 読解(記述)
2. リスニング
3. **上記の力を高めるためのStock・Scramble！ポロポロになるまで毎日必ず開く！！**

StockだけScrambleだけ勉強しても意味がない。部活でいえば、筋トレばかりして試合にでないようなもの。最後は、たくさん読んだ人・たくさん聞いた人が勝つ

共通テスト対策は、2学期以降たくさんやりますので今はまず、記述力をつける。これまでの卒業生は、共通テスト対策は週末課題や演習でやってきました。記述の力を高めるには時間がかかります。マーク方式の選択問題ばかりやっても記述力や正確な読解力はつきません。今は丁寧に読み、粘り強く記述問題に解答し、部分点を取れるようになる必要があります。制限時間内にすべての解答欄を埋める練習をしておくことが必要です。国公立大学の2次試験は基本的に落とす試験であり、選択式・マーク式で解答する問題はごくわずかです。赤本を見てみるといいと思います。その中で満点解答ができる受験生はほとんどいません。粘り強く記述し、部分点をかき集め7割以上(試験の難易にもよりますが)取れた受験生が勝ちぬけていきます。自宅で頑張っているみんなを応援しています。自分に厳しく！

数 学

X,Yともにニュースタンダードの予習をしっかりとやりましょう。解けない問題は白紙のままにせず、教科書等でその問題を解くのに必要と思われる公式や定理を書き込むなどしましょう。

前回の配布プリントにも書きましたが、基礎基本の定着には教科書の例・例題をやってみる、苦手分野の克服にはアドバンスの該当分野の問題を解けるようになるまで繰り返し解く、またはチャートを解いてみるなどがあります。

できない、分からない、と諦めるのではなく、できることから1日に取り組む量を決めて(時間を決めるのではなく)進めていってください。

ネット上では期間限定で無料のいろいろな動画や学習プリントが紹介されています。使ってみるのもよいでしょう。例えば

- ・啓林館 オンライン動画教材「スマートレクチャー」無料公開

<http://www.smart-lecture.com/>

- ・数研出版(青チャート解説動画、復習プリント)

<http://www.chart.co.jp/sp/ict2020s.html>

- ・Z会 中高生のための自宅学習サポート教材(高1範囲ここで差がつく!)

<https://www.zkai.co.jp/muryoukyouzai-ck/>

などがあります。

化 学 基 礎

教科書の内容は2年次にほぼ完了しているので、休校中は問題集等で復習をしておきましょう。特に苦手な分野(物質量や化学反応式など)は時間をかけて解いておこう。

生 物 基 礎

教科書は、4章と5章以外は1年時に終わっています。忘れていることも多いと思うので、休校中に復習をしましょう。生物の復習は、1日0.5章勉強するとしたら、6日で終わります。英数国も大事だと思いますが、1週間に1~2日もしくは、1日のうちで少しずつ、理科をやる時間を増やしていきましょう。

復習のやり方としては、授業ノートやリードlightノートの穴埋めを利用して、第1章の流れや現象、語句を理解しながら復習し、インプットしていく。そのあと、アウトプットとしてリードlightノートなどの練習問題に挑戦するとよい。

また、今回のウイルス騒動の影響で「映像授業」サービスを提供する各社が続々と無料提供を始めている。いくつかのサイトを紹介するので、まだ習っていない部分の学習に役立てられます。

NHK高校講座 活用方法ガイダンス

https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/spring_break/intro.html

NHK高校講座 生物基礎

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/seibutsukiso/>

以下の部分を視聴しておくとうい。

高校講座ガイダンス



画面内の「2学期」を選択し29～33を視聴しよう。

29:生態系

30:植生と生態系

31:植生の遷移

32:世界のバイオーム (1) ～気候と生物の適応～

33:世界のバイオーム (2) ～さまざまなバイオーム～

高校講座 生物基礎



《オススメ映像授業》

① 学びエイド(無料会員登録が必要) <https://www.manabi-aid.jp/>

内容が「授業」のためNHK高校講座より詳しい。個人情報に気を付けて登録し、見ておくだけでも勉強になる。生物以外にも多くの科目・内容があるため勉強ができる。

・村杉拓夢の日本一わかりやすい生物基礎 第10章 植生と遷移

<https://www.manabi-aid.jp/user/prof/2PI>

② Web玉 <https://www.webtamajuku.com/seibutu>

会員登録不要で各科目の教科書内容の説明動画が見れる。生物は内容が少し物足りない部分もあるが、面白くまとめてあるので楽しく見れる。YouTubeにつながる。ホームページの制作者も「教科書を使って自分で勉強しろ」と言っているので教科書をつかって復習しよう。

Web玉



③ Try it <https://www.try-it.jp/>

家庭教師のトライの映像授業サイト。無料登録をすると各科目の映像授業が視聴可能。1コマ10～20分で単元別になっている。丁寧な説明で内容は易しめ。

④ N予備校 <https://www.nnn.ed.nico/>

小中高の休校要請を受け、全ての教材とオンライン授業を無料開放している。niconicoという動画サイトのアカウント登録が必要だが、こちらも無料で取得できる。予備校の授業のため1コマ90分で、すべて視聴すれば教科書1冊分が学べる。

⑤ アオイゼミ <https://www.zkai-gr.co.jp/>

Z会グループの通信教育。3/30まで無料公開されていたため、休校措置の延長を受けて、今後も無料公開される可能性がある。Z会は難易度が高いのでしっかりと勉強したい人向け。

⑥ スタディサプリ <https://studysapuri.jp>

リクルートが運営する進学支援サイト。14日間の無料体験ができるが無料期間の翌日から利用料金が発生する。

生物だけでなく各科目の映像授業があるが、どの授業が有用で、どの授業が内容に不足があるかは各科目の担当者でないとわからない。参考として視聴し、その単元の内容については教科書を用いて学習することが必要である。学習の基本は教科書であることをお忘れなく。

URLは載せてありますが、検索をかけた方が早いでしょう。情報機器を上手に使うこと。

※ 登録の必要のないサイトのみQRコードを記載してある。登録は保護者と相談し、個人情報の取り扱いには十分に注意すること。